

講義科目 : 地域福祉論Ⅱ	単位数 : 2
担当 : 長友 薫輝	学習形態 : 選択科目 社会福祉士必修科目

講義の内容・方法および到達目標

本講義は地域福祉論Ⅰに続き、地域で生じている様々な問題について社会福祉と連結させて、社会階層の視点から地域の生活問題の分析を図ることを目標としている。

まちづくりを担う一員として、学生の積極的参加をもとに福祉のまちづくりの実例などを紹介し、地域福祉の援助技術についても理解させ、地域福祉の課題、展望について検討し理解を促す。

授業計画

- 1) 地域福祉とは何か
- 2) 地域福祉の意義
- 3) 地域福祉の役割
- 4) 地域格差の実態
- 5) 地域格差と地域づくり
- 6) 地域調査と生活実態
- 7) 地域調査から地域づくりのヒントを得る
- 8) まちづくりへの主体的参加
- 9) まちづくりの担い手
- 10) 担い手となって支えるには
- 11) まちづくりの多様性
- 12) 地域福祉の課題
- 13) 地域福祉と地域経済
- 14) 地域福祉と内発的発展
- 15) 地域福祉の展望

*なお、受講生の状況などによって内容を変更する可能性がある。

教材・テキスト・参考文献等

(参考文献)

鈴木土身『お医者さんも来たくなる地域づくり』旬報社、2020年

岡田知弘『行け行け！わがまち調査隊～市民のための地域調査入門～』自治体研究社、2009年

成績評価方法

- ① 毎回の講義時の小レポート (40%)
- ② 小テスト (2回程度) (20%)
- ③ 定期試験 (40%)

上記の①から③を総合的に評価する。

その他

① 地域福祉論Ⅰを受講し、単位取得した者のみ受講を認める。

② 自らの居住する地域に対する関心を持って受講すること。また、単位取得は容易ではなく、受講生には積極的な授業への参加を求める。